

豊寿園

FRUITFUL TREE

豊かな樹

Spring 2017

Vol. 34

JAPANESE RED CROSS
SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER
THE SPECIAL NURSING
HOME
HOJJYUEN



トピックス
T O P I C S

自己評価報告を開催しました

2月22日に、外部第三者委員の八坂和子様、木邊文夫様を交え、自己評価報告会を開催しました。当日は、北九州市の評価基準に則り、園内で各サービスの自己点検を行った結果や、利用者様を対象に実施した満足度調査結果、平成28年度中にお受けしたご家族等からのご意見について報告しました。利用者様を対象に実施しました満足度調査の結果は、豊寿園のホームページでも公開しています。豊寿園では、定期的にサービス内容の自己点検を行い、よりよいサービス提供を目指して取り組んでいます。

○豊寿園ホームページ <https://nissekihoujuen.jp/>

日赤豊寿園

検索



中庭を整備しました

これまで、ご面会時のお出かけには園駐車場付近をご利用いただいておりますが、この度デイサービス前の中庭を舗装し、中央にゆっくりと時間を過ごしていただけるようベンチを設置いたしました。車いすでもご利用できるようでは入口はスロープになっていますので、ご面会時にぜひご利用ください。



人事異動のお知らせ

平成29年4月1日付 豊寿園の人事異動をお知らせいたします。

【新規採用】

舞田 敬子 (嘱託職員⇒正規採用 生活相談員へ)
藤田 美由紀 (アルバイト⇒正規採用 2階介護職員へ)

【配置換え】

長田 英之 (事務課長兼経理係長事務取扱⇒事務課長兼庶務係長事務取扱へ)
福田 康 (庶務係長⇒経理係長へ)

【昇任・昇格】

森 英樹 (介護長兼生活相談係主任⇒生活相談係長へ)
上野 美幸 (1階施設ケアマネジャー⇒1階副主任介護職員兼施設ケアマネジャーへ)

きつと クロス 計画

3月25日 行方不明者搜索模擬訓練を校区の皆様と開催！

昨年度に引き続き、門司区松ヶ江北校区の皆様と、地域内で認知症のある高齢者が行方不明になったことを想定した、搜索模擬訓練を開催しました。
当日は地域の皆様と、行政関係者・福祉施設関係者に警察署員をあわせて99名の方にご参加いただきました。
地域内で4名の独居高齢者が行方不明になったという想定で、町内会長を中心に搜索班を4班編成し、歩いて町内を搜索しました。



高齢者を発見した時のお声かけのポイントを事前に勉強しました。



町内会長を中心に町内の地図を見ながら搜索方法を話し合いました。



上手に、対象者の納得を引き出せたら成功。



各搜索班で町内を手分けして探し、対象者を見つけたら、事前に勉強したポイントを思い出しながら、工夫を凝らして対象者にお声かけしました。



豊寿園職員は、おばあちゃんになりきって町内を歩き回りました。



当日ご参加いただきました北九州市認知症支援・介護予防センター、門司警察署の方からそれぞれ講評をいただきました。

獅子舞鑑賞会



1月 一流祝金獅子會のお二人にお越しいただき、獅子舞をご披露いただきました。



出張祈願



1月 和布刈神社から神主さんにお越しいただき、園内で新年のお祓いをしていただきました。



節分



2月 園内で節分の豆まきを行いました。

お買いもの



2月 セブンイレブン新門司インター店さんにお越しいただき、園内での買い物をお楽しみいただきました。

ひな祭り



3月 ひなまつりに園内でデザートバイキングを行いました。

豊寿園 アルバム



I was very glad to have seen your smile.

おやつ作り



3月 デイサービスで関東風桜餅を作り、桃の節句をお楽しみ頂きました。雛人形を見ながら食べた桜餅は、とても美味しかったです。

畑で収穫



3月 デイサービス裏庭の畑で、大根の最後収穫を行いました。ちょっと小さめでしたが皆さん喜ばれていました。

地域ぶらり情報



シンプルで 日々使える雑貨

柳町商店街近くのビルの1階に、ひっそりと『ツクリテ』があります。白を基調としたお店には、シンプルで日々使えて、肩肘を張らずに長く使える物をコンセプトに、作り手さん(作家さん)が作った『暮らしの雑貨』を中心に取り揃えています。例えば、ざる(写真)は、落としても割れないので子供の食器代わりに利用できたり、その他の雑貨も色々な利用が楽しめます。お茶やケーキなど楽しめるスペースもあり、暮らしを提案できたらと、味噌や梅シロップ作りなどのイベントを開いたりして、皆さんが集まるスペースとしても提供しています。今後は、開店2周年記念のイベントや、作り手さんの展示会なども予定されています。

門司に来た際は、ぜひ『ツクリテ』に寄って、素敵な雑貨を見ながら、お茶を飲みながら、ゆったりとした雰囲気を楽しませてみてはどうか。

ツクリテ

北九州市門司区柳町2丁目6-29-101
TEL 093-342-9251
定休日 月曜・第1・3日曜
OPEN 11:00~17:00

あとがき

ここ数年、入学式の頃まで待ってくれなかったせつかな豊寿園の桜の木達が、今年はペースダウン。ゆっくりと新年度が始まってからもゆっくりとその綺麗な花を楽しませてくれました。

豊寿園は皆さまのおかげで6月に20周年を迎えようとしています。昨年度は2年をかけて準備してきた園内でのお看取りや、新たに採用した歯科衛生士とともに口腔ケアを推進するなど、新しい取り組みが実を結んだ一年間でした。数年前には全国で数十万人と言われていた特養の待機者数減少がニュースで取り上げられることが多くなり、来年度には介護保険の改正も控えています。園を取り巻く環境は決して順風ではありませんが、今年度は「チェンジ」をスローガンに掲げ、これまでのやり方を一から見直していくつもりで、職員一同取り組んでいきたいと思っています。

それらの取り組みはすべて、ホームページやこの豊かな樹でも紹介していきますので、今年度の豊寿園もどうぞご期待ください。

平成29年度広報委員 森 英樹



今回表紙を飾ってくれたのは、前川暁樹さん(特養1階介護職員)、美紀さん(特養2階介護職員)です。

二人はともに平成27年に豊寿園に入職し、平成28年に結婚しました。

今号では、二人で門司港レトロでの撮影にかけて、仲の良い様子を撮影させてくれました。

介 護 一 口 メ モ

C A R E M E M O

今回のテーマは「風邪予防」についてです。寒い冬を超えたばかりですが、春先の風邪は長引いたりすることがあるので注意が必要だそうです。風邪の基本知識、風邪予防のポイント、風邪の対処法についてご紹介します。

資料引用：この冬こそ徹底したい！風邪予防の7つのポイント
<http://www.ippondo.com/201411-cold.html>

○ 風邪の基本知識

風邪の原因の9割以上は、細菌よりもさらに小さなウイルスによるものです。その種類は、風邪に関するものだけで200種類を超えていると言われています。これらのウイルスは、種類が多いこと・常に変異し続けていることから人体の免疫記憶が成立せず、生涯に何度も「風邪を引いてしまう」のです。代表的なウイルスとして、鼻風邪を起こすライノウイルスや、喉を腫らすアデノウイルスなどが挙げられます。

風邪を予防する7つのポイント

- ポイント1 : 十分に睡眠をとりましょう
- ポイント2 : バランスの良い食事とビタミン補給を心がけましょう
- ポイント3 : 適度な運動を日常に取り入れましょう
- ポイント4 : 極端な厚着、薄着は避けましょう
- ポイント5 : 手洗い、うがいを習慣付けましょう
- ポイント6 : 乾燥したところや人ごみは避けましょう
- ポイント7 : タバコの吸い過ぎに気を付けましょう

○ 風邪の対処法

- 原則1 安静 : 安静にし、体力を温存しましょう。
- 原則2 保温・保湿 : 部屋の温度を20～25℃位に調節し、加湿器などで保湿に努めましょう。
- 原則3 栄養 : こまめな水分補給と消化の良い食事を摂る様にしましょう。

一 口 コ ラ ム



私の母が豊寿園に4年待って入所した。レビー小体型認知症。要介護5。悪気があるのかなのか、夜な夜な「ふ～ん、ふ～ん」と歌ってなかなか寝ない。朝不機嫌に半眠り。職員が声をかけたら「しゃーしー」と言ったそう。買い物行事で、「ビール飲みますか？」と聞かれ満面の笑み。ノンアルコールをおいしそうに飲んでいる。いつもお茶を口に溜めて吐き出すのに、なんと上手に飲むことか。認知症になる前は、少食で子供用のお茶碗より少ないごはんだったのに。。。介助をしてもらえるとなると、全量食べてふっくらしてきた。元気でいればそれでいい。20年くらい前、祖母が病床で管に繋がれた姿を見て「私にはこんなことせんでね」と言った母。ご飯が食べられなくなった時は、豊寿園で看取りケアをしてもらおうね。ビールを飲ませてもらおうね。BGMは美空ひばりの『川の流れのように』をリクエストしようね。あ～まだまだ先の話だった、と独り言を言っている私のことを目で追っている母。『私誰かわかる？』と聞くと即座に「わからん」と答える。もう少し、記憶を呼び戻してよと思う今日この頃でした。

豊寿園介護課長 奥水 薫〈北九州市認知症介護指導者〉

あなたと向き合った日々

HOUJYUEN × Family

今回、荒木 施設介護係長のインタビューを受けてくださったのは、中川康彦様です。ご自宅での介護を経て、現在はお母様が豊寿園にご入所されています。そんな、中川様にご自宅での介護についてお聞きしました。

— 初期の段階で受診することができてラッキーでした。 —



今回インタビューに応じてくださった
中川 康弘 様
お母様のご自宅での介護を経て豊寿園に入所されるまでの体験談を語って下さいました。

もともと持病がたくさんあって、何かあつたらすぐ病院、という習慣があつたから、認知症を疑う症状が出た時も病院に連れて行くのに本人の抵抗がなくて、初期の段階で受診することができてラッキーでした。介護のために私たち家族と同居するようになりまして。夜中に何度もトイレに起きて、たまに気がつかないことがあつたので母の部屋の隣にトイレを造りました。私も母の隣に寝るようにしていたのですが、ある日の朝、母を見たら服を全部脱いで毛布にくるまって寝ているんです。『えー？』と思つてトイレを見に行くと、便まみれになつていて、後始末が大変でした(笑)。最初の頃は、なかなか入歯を預からせてくれませんでした。自分で外して、ティッシュに包んで置き忘れたりするんです。ある日、ご飯食べる時に何か食べ方がおかしいなあと思つて確認したら、やっぱり入歯を外していました。でも、どこを探しても見つからなくて、どうやらトイレに流してしまつたみたいなんです。それからは、何があつても預かるようになりました。

— 他にもエピソードなんて山ほどあります。 —

玄関に鍵をかけていても、1人で外に出ていつてました。『ちよつと待つてね』と言つても、すぐ1人で何処かに行きます。一緒に買い物をしていた時、買い忘れた物を出したんです。『すぐ戻るから、ここに座つて待つてね。』そう言つて、ほんの1分程離れた間に母はもう居ません。すぐに約束を忘れて、1人になった不安でどこかに歩いて行つてしまつたんです。とにかく待てないんです。たまたま、母がふらふら歩いてる所を、スーパーの店員が心配して声を掛けてくれたみたいで、その時は無事でした。何かあつて誰かが声をかけてくれる、名前や住所を聞いても『わからん、わからん』の繰り返しで、警察に保護されたこともありまして。

— しばらくの間は市民センターの生きがいデイに行つていました。とうとう利用を断られる日がきて・・・ —

母が認知症の診断を受けてから、しばらくの間は近くの市民センターでやつていた生きがいデイサービスに通つていました。そこには慣れ親しんだ人たちがたくさんいましたから。でも、だんだん周りについていけなくなつてきて、とうとう利用を断られる日がきました。かかりつけ医からも介護保険のデイサービスの利用を勧められたのもあつて、介護保険の手続きをしました。

介護保険サービスを利用することについては、『行かしていいんやろか』という葛藤

や、『介護を放棄する』ような気持ちになつて、とうとう悩みました。

— 利用日も週1回から、2回、3回と延ばしてだんだん慣れていきました —

ケアマネジャーの紹介で豊寿園のデイサービスを利用し始めました。最初の頃は、自宅に帰つてくると、『もう行かん』なんて言つてしまつたが、翌日になれば『行つてきまーす』つて、それを毎回繰り返していました。母は、洗濯物たたみやお茶を入れる等、他の利用者さんのお世話をするのがやり甲斐に感じるようになってきたみたいでした。





お若い頃の中川様。お孫さんを抱いた姿からは、今と変わらないやさしいお人柄が伝わってきます。

そのうちに、私も仕事があるのでショートステイも利用するようになりました。泊りにも徐々に慣れていってくれたのですが、ある日、ショートステイの最終日に豊寿園まで私が車で迎えにいきました。その帰り道、母が急に車内でろれつが回らなくなっただけ慌てて病院へ駆け込みました。

—入所の決断には抵抗がありました。喪失感も。—

私が『皆、喜んでた、助かってるってよ。だから明日もお願いな』って言うと、母は『そうかね?』って、だんだんやる気を出すようになっていって、いつしか『私が行って手伝つてやるう』と、気持ちが前向きに変わっていきました。利用日も週1回から、2回、3回と延ばして、だんだんと慣れていきました。



一過性脳虚血発作と診断されましたが、幸い大事には至りませんでした。ただ、担当の先生からは、『持病のこともあり家に連れて帰るのは無理です、許可できません。』と言われました。ついに、特養への入所を決意する時が来た、と思いました。その決断には抵抗がありました。喪失感も。ただ、反面ちよつとホツとしました。母が死ぬまで自分で面倒をみないといけないという気持ちが強くなり、医師に背中を押してもらったことを、自分に言い訳のように言い聞かせていました。それからは、母のことを割り切って考えられようになりました。だって、在宅で介護サービスを利用している頃を考えると、1週間のうち3日間はショートステイに行っていたので、その間は母と会わないんです。帰って来てもすぐ寝るだけだし、在宅介護といえながらあんまり会話してなかったです。特養に入所しても、自分が面会に行けば会える訳だし、在宅の時と比べたら今の方がいっぱい会って話している気がします。『あー…今日も元気だな、ご飯食べてくれたなあ…』って、いつもそんな事を考えながら家に帰っています。

座
談
会

You were young in those days.

— どうして豊寿園に就職したいと思ったのですか？ —

寺岡理恵：私は高校生の時に、豊寿園で実習をさせてもらったんですが、その時に夏祭りで地域の人や利用者様が楽しそうにされている様子が印象的で応募しました。当時、とても怖い職員さんがいたんですが、「もう辞めているだろう…」と思い込んで応募しましたが、いらっしゃいましたね(笑)。

師井大介：当時私のおばあちゃんが入所していて、面会に行くといつも丁寧に介助して下さいていた職員さんに憧れて、私もここで働きたいと思いました。



— 入職当時と今とを比べると、どこが、どう変わったと思いますか？ —

飯田健太：まず体が昔みたいには動かなくなりましたね。後輩たちを見ていると、見た目も考え方も「若いな…」とってしまうようになりましたね(笑)。

垣上 寛：入職当時は先輩たちに色々教えて頂きましたが、今は自分が教える立場になっていること。少しは成長できているかな、と思います。

寺岡理恵：そうそう。昔は先輩を見て、聞いて習う事ばかりだったのが、今はそれプラス写真付きのマニュアルなんかが出来て分かりやすくなりましたね。

T A L K ✕ T A L K

— 入職当時のエピソードなどあれば教えてください。 —

師井大介：初めて話しますけど、採用試験を受けた時、「この人も試験を受けるんだ…、何歳くらいだろう？10歳位年上かな？」と思っていた人が垣上副主任でした(笑)。同級生だと聞いて驚きました。

垣上 寛：えー。知らなかった(笑)。僕は、初めて夜勤に入った時にものすごく緊張していたんですが、居室へ巡視に行くと、ベッドの上に寝ているはずの方がいなくて慌ていたら、隣の部屋の車椅子で眠っているのを見つけた時は倒れそうなくらい驚いたのを覚えています(笑)。

寺岡理恵：私は利用者様にベッドで横になって頂こうと「横になりますよ」とお声かけしたら、「私は縦になります！」と返されましたよ(笑)。



— これから豊寿園で成し遂げたいことはありますか？ —

垣上 寛：利用者様の傍でしっかりと耳を傾け、その方に合った介護ができるように目指していきたいです。

寺岡理恵：豊寿園で良かった、と言っていただけの温かい対応をこれからも続けていきたいです。

師井大介：利用者様に豊寿園での生活で楽しみを持って過ごしていただけるように、日々私も楽しみながらサポートさせてもらいたいですね。

the history of h o u j y u e n

豊寿園の歴史を彩ってきた職員達を、順番にご紹介していくコーナーです。
5回目は、平成16年に入職した職員4名をご紹介します。



— 同期入職者の紹介 — You were young in those days.

飯田 健太

特養棟2階 介護職員

平成16年に22歳で豊寿園に入職。
以来、特養棟勤務一筋の中堅職員。
趣味はパチンコ・スロット。

寺岡 理恵

特養棟2階 介護副主任

平成16年に21歳で豊寿園に入職。
以来、特養棟勤務一筋の中堅職員。平成27年から現職。
趣味はヨガ。

師井 大介

特養棟2階 介護主任

平成16年に20歳で豊寿園に入職。
平成23年からはデイサービスでも勤務。平成28年から現職。
趣味は美味しい食事のできるお店探し。

垣上 寛

特養棟1階 介護副主任

平成16年に20歳で豊寿園に入職。
以来、特養棟勤務一筋の中堅職員。平成25年から現職。
趣味は剣道。

2017

Vol. 34

JAPANESE RED CROSS
SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER
THE SPECIAL NURSING HOME
HOJYUEN



Spring 2017

Vol.34

TOPICS

MORE CROSS

HOJYUEN 'S ALBUM

AREA INFORMATION

CARE MEMO

HOJYUEN X FAMILY

SPECIAL SECTION

FRUITFUL TREE

JAPANESE RED CROSS SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER THE SPECIAL NURSING HOME HOJYUEN